

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属	株式会社アソボット				
役職	取締役				
氏名	近藤ナオ	ふりがな	こんどうなほ	生年月日	1978年2月17日
連絡先住所	〒150-0001	東京都渋谷区神宮前6-8-4-2F			
電話番号	03-6433-5895	メールアドレス	nao@asobot.co.jp		

2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p><経歴> 国士舘大学工学部建築学科卒。 在学中に、建築事務所でのインターンを経験。 1998年(大学3年生時)そこで知り合った仲間とデザイン事務所『nano』を起こし、店舗を中心とした空間デザインを手掛ける。 その後、仕事を通じて知り合った伊藤剛と意気投合。 2001年『株式会社アソボット』を設立。</p>					
	<p><主な取組内容> パートナー:静岡県南伊豆町(伊豆半島) 業務内容:温泉&海水浴観光が衰退する伊豆半島で、日本唯一のフィリピン海プレートにのる海底火山の島の自然を利用したアウトドアアクティビティ事業者を取りまとめた「週末アドベンチャートリップ」の立ち上げと運営組織作りを担当。現在は、週末アドベンチャートリップ実行委員会として運営。</p> <p>パートナー:三井不動産(日本橋) 業務内容:住む人4万人、働く人40万人の街「日本橋」。この街を、働く人を中心に活性化してプロジェクト「日本橋フレンド」と「Clipニホンバシ」の立ち上げと運営組織作りを担当。現在は、特定非営利活動法人日本橋フレンドとして運営。</p> <p>パートナー:新潟県三条市 業務内容:三条市は『「健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区」の具体的な推進のための横断的な組織づくり』をテーマに事業を行う。簡単に言うと「生涯にわたり健康に暮らせる街は、良い街だ!」というコンセプトの元、行政だけに頼るのではなく、街の人々が中心になり、それを実現するための市民主体の組織づくりを行うという事業です。この事業を推進する組織の立ち上げと運営組織作りを担当。特定非営利活動法人ステージえんがわと三条スパイス研究所の立ち上げ</p>					
取組分野	<input type="radio"/>	1	観光振興	<input type="radio"/>	7	住民参加・協働
	<input type="radio"/>	2	産業振興	<input type="radio"/>	8	イベント交流
	<input type="radio"/>	3	過疎地域・限界集落の振興	<input type="radio"/>	9	食品流通
	<input type="radio"/>	4	中心市街地活性化	<input type="radio"/>	10	環境
	<input type="radio"/>	5	まちづくり景観	<input type="radio"/>	11	NPO・ボランティア
	<input type="radio"/>	6	農林水産品の開発・ブランド化	<input type="radio"/>	12	その他(起業支援、人材育成)

3. 関連ホームページ

名称	アドレス
株式会社アソボット	http://www.asobot.co.jp/
週末アドベンチャートリップ	http://weekend-adventure.jp/
日本橋フレンド	http://www.nihonbashifriend.com/
ステージえんがわ	http://sanjoy-machinaka.jp/engawa/


4. ふるさと財団での実績

地域再生 ジャーナル	◆2015年度 新潟県三条市 「「健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区」の具体的な推進のための横断的な組織づくり」 ◆2016年度 新潟県三条市 「まちなかのコミュニティ機能の再生及びプラットフォーム(組織づくり)の構築」
地域再生 セミナー 講師	
環境整備 ジャーナル	
初期対応 ジャーナル	

5. 財団報告書

[illegible]

6. 写真・ひとことPR

	<p>＜ひとことPR＞</p> <p>ビジネスとコミュニケーション(クリエイティブなど)の両面から地域課題解決型ビジネスや地域資源活用型ビジネスの立ち上げのサポートを得意としています。2年以内に持続可能な組織作りを目指しています。</p>
---	---